

# 光明の生活

## 三 縁

親縁  
近縁  
増上縁

## 五 徳

世尊住奇特法  
世雄住諸仏所住  
世眼住導師行  
世英住最勝道  
天尊行如来徳

## 三 相

諸根悦予  
姿色清浄  
光顔巍巍々々

## 釈尊出世の本懷

釈尊しやくそん此世このよに出いでましなされて、生涯しやうがいに互わたつて一もつぱら御力おちからを尽つくし為なされた御本懷ごほんがいは那邊なへんにありやとなれば、蓋そは世よの群もろもろの衆生しゆじやうが心こころの闇やみと悩なやみと罪つみにより、闇やみの裡うちにさまよいあるを慰あわれみ、凡すべての人類じんるいを明あかるきと安やすきと聖きよきに復活ふつかつさせ而しかして円満えんまんなる人ひととし永遠えいえんの光明こうみやうに導みちびかんが為ために世よに御出おでましなされた。經きやうに「如来にやらいわ無尽大悲むじんだいひを以もつて三界がいを矜あわれみ光ひろく道教どうきやうを闡ひらき、群萌ぐんもうを拯すくわんと欲ほつし、恵めぐむに眞実しんじつの利りを以もつて」と。恵めぐむに眞実しんじつの利りとは如来にやらいの慈父じふの光明こうみやうを獲得ぎやくとくして聖人きよひとと生うまれ更かわつて現世げんせを通つうじて永遠えいえんの生命せいめいを得えせしめんとおの御慈悲おじひなり。

## 大 慈 父

宇宙うちゆうに唯一だいいの大慈父だいじふとは何いずれに在ましますや。釈尊しやくそんの本地ほんじ一切聖人さいせいじんの共ともに讃称ほめたえて止やまざ

ところの如ごとく來きたにて、宇宙うちゅう最高さいこうの淨きよき處ところに在ありて慈悲じひと威神いじんとの光明こうみょうを以もつて一切さいの人類じんるい  
 の心こころの闇やみと悩なやみと罪つみとの汚けがれより救靈きゅうれいの靈力れいりよくを与あたへたまふ最尊さいそん者じゃに在あります。喻たとえば世界せかいの  
 一切さいの生物せいぶつは太陽たいようの光ひかりに依よらざれば生存せいぞんすること能あたわざる如ごとく、人ひとの心靈しんれいは大慈父だいじふの  
 慈愛じあいの光明こうみょうに由よらざれば生存せいぞんすること能あたわらず。如來にょらいは心靈界しんれいかいの大日輪だいにちりんにして一切さいの  
 人類じんるいを永恒えいごうの光明こうみょう中に摂おさめて聖きよき生命せいめいに靈化れいかし光明こうみょうの裡うちに聖きよき人ひととし円満えんまんなる靈れい  
 格かくとしたまふ大慈父だいじふにまします。經きやうに「如來にょらい威神いじん光明こうみょう最尊さいそん第一だいいちにして諸仏しよぶつの光明こうみょう及  
 ぶこと能あたわざる所ところなり」と、又また「如來にょらいは光明こうみょう徧あまねく十方世界じつぽうせかいを照てらし念仏ねんぶつの衆生しゆじやうを摂せつ  
 取しゆして捨すて玉たまわず」とあり唯一ゆいの慈父じふの光明こうみょうの外ほかに衆生しゆじやうの心靈しんれいを救すくうものあること  
 なし。

## 子等が汚を聖む

宇宙間無量の世界に生きとし活けるものとして、悉く皆如来の子にあらざるものなし。故に經に「三界我有、其中衆生悉皆我子」と示されて居る。我等は本如来の聖子たる靈性を具有て居る。喩えば純金も本は鉞垢の中に在った如く、衆生の心靈は煩惱垢の中に存す。故に之の汚を清むるにあらざれば聖子の靈徳は顕われぬ。然らば如何にして我等は聖めらるることが出来よう。蓋は教祖釈尊の教示に随いて如来の光に触れて初めて心靈は清めらるる。如来の靈光に感ずる時は闇と悩と罪との汚垢より清められ、靈に充されて意と共に身も柔和温良となり、如来の円なる如くに円なる人となり、心広く体肝かに、平和と歡喜とに満たされ、いと靈福の心の生活を為し得られ、又如来の聖意を身と意と口との行為の上に現わるるようになし給う。經に「其れ衆生ありて斯光に遇う者は三垢消滅し身と意と柔軟に歡喜踊躍して善心生ず」と示されたり。

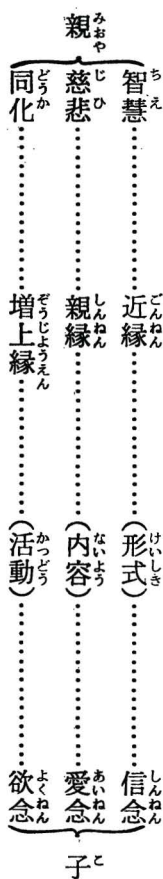
## 聖き同胞

一二

唯一の大慈父の光に由つて如来の聖子たることを自覚し人格も一変し来りて観ずれば、一切の人類は本一人の慈父によりて互に同胞なる事を信ぜらる。然るに世の人々は唯肉体許りを我と謂うて靈の大慈父在ますことを識らぬ。故に全く同胞の真意が表われぬ。慈父の光によらず、自ら闇と悩と罪とに埋れたるものに対して同情に耐えぬ。願くば同胞に大慈父の在すことを信ぜしめ、大光明の中に共に光榮をうけ共に靈福をわかち永遠にまで大安寧を得んことを望み相携えて光明の中に益々靈きに向上せんとを祈るものである。

# 三 縁

如来にょらいより衆生しゅじょうに對する光ひかりは三縁さんえんにて即ち恩寵おんちようである。恩寵おんちよう（光明こうみょう）を被こうむる人の信仰しんぎょうに三心さんじんあり。近縁こんねんは信しん、親縁しんねんは愛あい、増上縁ぞうじょうえんは欲よくに對する關係かんけいにて、如来にょらいの智慧ちえと慈悲じひと威力いりきとが、衆生しゅじょうの三心さんじんの關係かんけいに三縁さんえんとなるわけである。



至心ししんに深く信ふかずしん

自身じしんは罪惡ざいあくの凡夫ぼんぶなれども如來無上にょらいむじょうの願力がんりきを以て必かならず我われを摂受しやうじゆしたまうことを

至心ししんに深く愛ふかすあい

如來無上にょらいむじょうの慈悲じひを以て衆生しゆじやうを愛あいしたまうが故ゆゑに我われもまたすべてに超こえて如來にょらいを

愛樂あいぎやうしたてまつる

至心ししんに深く欲望よくぼうす

真善美しんぜんびの靈國れいこくに生うまれて聖きよき世嗣よつぎとならんことをまたすべてと俱ともに安寧あんねいを得えんこ

とを